

事業報告書

【第9期】

2021年度

自：2021年4月 1日

至：2022年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

事業報告書 目次

I. 事業の概要	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動	2
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動	5
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動	6
II. 理事会・評議員会に関する事項	14
III. その他	15
IV. 後発事象	15

I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、本年度も国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（1）～（6）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

（1）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学ぶことのできる「漢字ミュージアム」を運営しました。

本年度の来館者数は31,945人でした。

①開館日数：245日（臨時休館日数：82日＊新型コロナウイルス感染症の影響）

②開館時間：午前9時30分（時間短縮日は午前11時）～午後5時

③休館日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始

＊新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、臨時休館や開館時間の短縮を行いました。

④利用料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障害者
個人	団体	個人	団体	個人	団体		
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200	無料	無料

＊団体は20名以上（団体引率者は10名につき1名免除）／障害者の介護人（1名）免除

○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人の割引（2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効）

大人	大学生・高校生	中学生・小学生
¥2,500	¥1,600	¥1,000

⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、個別指導を伴うワークショップは中止しました。なお、講座は聴講者数を限定した上で開講、収録したものを後日webにて配信しました。

⑥企画展の開催

2 企画開催しました。

ア) 「なやみ深き漢字学習展～戦後から現代へ～」 6月16日～3月31日 30,162名

イ) 「今年の漢字展」 10月27日～4月10日 19,394名

(2) 機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行（年2回）し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料で配布しました。

「漢検ジャーナル V o 1.32」(2021年6月1日発行) 発行部数 50.4万部

「漢検ジャーナル V o 1.33」(2022年2月1日発行) 発行部数 50.4万部

(3) Webサイトの拡充

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」 <https://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア」を運営しました。このサイトは『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに制作したもので、角川「新字源 改訂新版」と連携して漢字のなりたち情報も付加しています。パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句をいつでも検索することができ、また、インターネット辞典「goo 辞書」とも連携をはかっているため、同辞典で漢字を検索すると「漢字ペディア」の情報が表示されるようになっています。4,581万pv/年間

②漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ®」 <https://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を運営しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトであり、身近な言葉に関する話題から少し学術的な話題までを分かりやすく伝えています。年間記事登録数 104件 89.8万pv/年間

③言語活動に取り組む先生のためのサイト「TEACHannel」 <https://teachannel.kanken.or.jp/>

新しい学習指導要領に記述がある「言語活動の充実」に資するために、言語活動に取り組む先生方に情報を提供する会員制ポータルサイトを運営しました。全教科の学びを支える「言語活動」に役立つ情報をお届けしています。累計記事掲載数：実践事例 63件 コラム 111件

④「漢検 団体サポートサイト」開設 <https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>

各団体における目標達成や課題解決のために、検定（漢検・文章検）や各種協会コンテンツをより効果的にご利用いただくためのサポートサイトを開設しました。検定をご実施いただくにあたって、団体ご担当者の手間を軽減するために、さまざまなシーンでご利用いただける各種ツールや、T o D o リスト付きのスケジュール等をご紹介します。（2022年3月22日オープン）

(4) 漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995年から毎年実施している行事です。11月に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を12月13日(例年は、12月12日の「漢字の日」に発表)に清水寺(京都市)の森清範貫主の揮毫により発表しま

した。本年度は、応募総数 223,773 票のなかから「金」が 10,422 票（4.66%）を集めて 1 位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストとして全国から広く作品を募集しました。9 回目となった今回は、「小学生部門」に 10,652 作品、「中学生部門」に 20,810 作品、「高校生部門」に 14,022 作品、「大学生・一般部門」に 3,284 作品、また「その他」として 2,463 作品、合計 51,231 作品の応募がありました。その中から以下 60 作品を入賞作品として決定しました。

<賞区分>

・絆大賞(各部門につき 1 作品)	計 4 作品
・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき 1 作品)	計 4 作品
・審査員賞(各部門につき 3 作品)	計 12 作品
・佳作	計 40 作品
	合計 60 作品

応募のあった「贈りたい漢字」は計 1,801 字でした。

4 部門を合計した「贈りたい漢字」は、「感」が最も多く、順に「謝」「笑」「楽」「愛」「優」「幸」「友」「夢」「努」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	小学生部門	中学生部門	高校生部門	大学・一般部門
1 位	楽	感	謝	謝
2 位	感	謝	感	愛
3 位	優	笑	笑	笑
4 位	笑	楽	愛	感
5 位	友	優	楽	楽

なお、昨年第 8 回の受賞作品を冊子化（30,000 冊）し、全国の小・中・高校と教育委員会に寄贈しました。

(5) 漢字まなび活動助成

日本全国における漢字学習の振興を目指して、当協会以外の団体が行う、地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、その活動費用の一部を助成する制度を、平成 29 年度より開始しました。活動 1 件あたりの助成金額は、活動に係る予算の二分の一以下かつ上限 30 万円としてホームページで公募した結果、本年度は、6 団体 6 件の活動に対して助成しました。

(6) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【本年度の対象および支援者数】

・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者）無償受検	延べ 284 団体	917 名
・児童自立支援施設無償受検	延べ 138 団体	2,076 名
・児童養護施設/児童心理治療施設への学習教材の無償提供	延べ 216 団体	5,089 冊

2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面からも研究する漢字文化研究や、日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

(1) 漢字文化研究

①漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究・調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され、有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。本年度は6点の論考が寄せられ、以下3名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第12号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最優秀賞		該当なし
優秀賞		該当なし
優秀賞	飯田 祥子 公益財団法人古代学協会 客員研究員	五一広場東漢簡牘の上行文書に関する基礎的整理
佳作	張 愚 中山大学外国語学院 副教授	構文的特徴と意味の相関性からみた漢語「迷惑」の変容
佳作	方 国花 奈良文化財研究所 客員研究員	「𠄎」と「甕」の比較からみた文字伝播ルート —古代出土文字資料の例を中心に—

②日本漢字学会

学術団体「日本漢字学会」は、当協会が漢字文化研究のより一層の振興をはかるために全国の研究者に呼びかけたことがきっかけとなって、2018年3月29日に発足し、当協会漢字文化研究所が学会の事務局機能を担っています。12月4日・5日に第4回研究大会を立命館大学での対面とオンラインで開催しました。研究大会では口頭発表10編の研究発表があり、会員・一般の方あわせて延べ約130名が参加しました。

(2) 日本語・漢字教育研究

①漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行っています。本年度は6件の応募をいただき、選考委員会による審査の結果、1件が採択となり2022年度研究活動費の助成を行うことが決定しました。

所属機関	研究（代表）者	研究題目
東京都立大学 総合研究推進機構	渡邊 幸佑	説明的文章の要点を把握するための読解方法の 開発・評価

②検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・出題妥当性の検証
- ・受検者の誤答傾向の調査

③漢字・日本語学習に関する学際研究

京都大学と以下2つのテーマに関する共同研究プロジェクトを平成29年度に開始し、5年目（最終年度）となる今期は下記の研究成果が得られました。なお、本プロジェクトの成果は、当協会ホームページ上でも公表しています。

ア) 漢字能力が脳機能の発達・維持におよぼす効果の科学的検証

「高い漢字能力」を身につけ、さらに維持することの重要性を、学習期（学童期～青年期）と能力維持期（老年期）の2層を対象にした脳の研究によって科学的に証明することを目的として研究を進めました。学習期の研究においては、2021年1月に公表された論文『多面的な日本語読み書き能力の認知基盤と高度な言語スキルに及ぼす影響』（大塚貞男、村井俊哉）をきっかけに、新聞や医療系Webメディア等に取り上げられ、漢字学習、とりわけ書字の重要性について広く発信することができました。本寄付研究は当年度をもって終了しますが、学習期の研究は引き続き委託研究として実施します。また、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった能力維持期の介入研究については、引き続き京都大学にて継続されます。各分野の研究結果は今後も当協会ホームページ等で公表予定です。

イ) 人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究

検定等を通じて蓄積されたノウハウや膨大な手書き文字データを分析し、漢字の適切な使い方や文章力向上に資する学習システムを構築、学習指針を提供することを目的として研究を進めました。成果として、AIを活用した漢字認識技術や、コンピュータによる文章理解と人間による読解との両方での活用を目指す基礎的データを導きました。語彙難度推定の成果を活用して2019年度にリリースした、読売新聞のニュース記事タイトルがそのまま漢字の「読み」「書き」問題として出題されるアプリ「漢検とニュース」は、随時バージョンアップし、無料でサービス提供しています。また、2022年1月には、本研究の基礎データを活用して、言葉の使い方や文の作り方を自然と身につけることをねらいとしたゲーム「いちまるとはじめよう！ことばむすび」をリリースし、アプリ版・WEB版ともに無料で提供しています。これら一連の研究成果は、京都大学大学院情報学研究科 黒橋禎夫教授の研究グループにより2020年11月のEMNLP2020（自然言語処理に関する国際会議）をはじめ、言語処理学会年次大会で報告しました。本寄付研究は当年度をもって終了しますが、当協会では引き続き、本研究の成果活用、学習アプリ等の運営、事業と関連させた実践研究を行います。本研究に関する情報は今後も当協会ホームページ等で公表予定です。

3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、研究会、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

(1) 「日本漢字能力検定」の実施報告

①検定級および検定料

1級：5,000円 準1級：4,500円 2級：3,500円 準2級・3級・4級：各2,500円

5級・6級・7級：各2,000円 8級・9級・10級：各1,500円

②実施日

準会場での受検機会確保のため、検定日程を2日程増加し、年間16日程実施しました。

第1回公開会場、第2回公開会場および第3回公開会場での検定は、人数制限の上で実施しました。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	2021年6月20日(日)	1～10級	2021年6月11日(金)	2～10級
			2021年6月20日(日)	2～10級
			2021年6月26日(土)	2～10級
			2021年7月2日(金)	2～10級
			2021年7月17日(土)	2～8級
第2回	2021年10月17日(日)	1～10級	2021年8月28日(土)	2～10級
			2021年9月3日(金)	2～10級
			2021年10月8日(金)	2～10級
			2021年10月17日(日)	2～10級
			2021年10月23日(土)	2～10級
			2021年11月5日(金)	2～10級
第3回	2022年2月13日(日)	1～10級	2022年1月14日(金)	2～10級
			2022年1月29日(土)	2～10級
			2022年2月4日(金)	2～10級
			2022年2月13日(日)	2～10級
			2022年2月19日(土)	2～10級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	170	172	167	509
準会場	10,825	14,017	12,030	36,872
合計	10,995	14,189	12,197	37,381

④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常の年3回16日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	221	60,825
準会場	96	1,995
合計		62,820

⑤志願者数・受検者数・合格者数

2021年度の志願者数は1,709,961人でした。回・級ごとの内訳は次のとおりです。

2021年度総計

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	3,033	18,360	155,295	260,418	415,608	219,581	175,403	104,157	102,397	99,868	85,264	70,577	1,709,961
受検者数	2,586	15,934	141,050	238,472	382,954	200,436	158,757	92,542	90,046	86,567	73,330	59,509	1,542,183
合格者数	223	1,734	39,914	94,282	193,108	108,881	117,853	74,210	78,304	72,607	66,272	56,473	903,861
合格率(%)	8.6%	10.9%	28.3%	39.5%	50.4%	54.3%	74.2%	80.2%	87.0%	83.9%	90.4%	94.9%	
1級～10級平均合格率												58.6%	

第1回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,070	6,574	54,991	92,485	136,046	66,640	55,947	23,076	21,208	20,268	16,697	14,254	509,256
受検者数	916	5,767	51,968	88,701	130,827	63,519	53,605	22,226	20,390	19,361	15,962	13,477	486,719
合格者数	85	850	12,801	34,709	61,517	33,378	40,046	18,146	17,670	16,377	14,399	12,947	262,925
合格率(%)	9.3%	14.7%	24.6%	39.1%	47.0%	52.5%	74.7%	81.6%	86.7%	84.6%	90.2%	96.1%	
1級～10級平均合格率												54.0%	

第2回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	925	5,562	49,014	86,373	159,748	84,798	55,442	31,057	31,400	29,747	24,909	19,126	578,101
受検者数	797	4,863	45,619	81,783	151,656	79,848	51,966	29,187	29,419	27,529	23,061	17,287	543,015
合格者数	51	269	14,221	33,462	80,898	43,427	37,251	23,262	25,283	22,835	20,787	16,320	318,066
合格率(%)	6.4%	5.5%	31.2%	40.9%	53.3%	54.4%	71.7%	79.7%	85.9%	82.9%	90.1%	94.4%	
1級～10級平均合格率												58.6%	

第3回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,038	6,224	51,290	81,560	119,814	68,143	64,014	50,024	49,789	49,853	43,658	37,197	622,604
受検者数	873	5,304	43,463	67,988	100,471	57,069	53,186	41,129	40,237	39,677	34,307	28,745	512,449
合格者数	87	615	12,892	26,111	50,693	32,076	40,556	32,802	35,351	33,395	31,086	27,206	322,870
合格率(%)	10.0%	11.6%	29.7%	38.4%	50.5%	56.2%	76.3%	79.8%	87.9%	84.2%	90.6%	94.6%	
1級～10級平均合格率												63.0%	

※志願者数には、漢検 CBT 志願者および当協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑥資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校、高等学校における「漢検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「漢検」を活用している大学・短期大学、専修学校、高等学校に関する情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数	活用方法（重複あり）	
				入学試験	入試以外
大学・短期大学	1,068	1,057	646	583	149
専修学校	2,662	1,983	681	384	381
高等学校	5,523	4,811	4,364	2,678	2,627

⑦成績優秀者表彰

「漢検」において、漢字学習に取り組んでいる人の努力を称え、さらなる学習の励みとしていただく目的で、受賞者・受賞団体を選考しました。本来であれば、成績優秀者表彰式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2021年度の成績優秀者表彰式の式典開催は見送り、受賞者を称える特設サイトをWEB上に開設する予定です。

本年度は、個人賞として205名と6組の家族を、団体賞として347団体を選出しました（各賞の授与は2022年6月頃に行います）。賞別の受賞者内訳は次のとおりです。

個人賞

◇日本漢字能力検定協会賞	1～10級	合計 36名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10級	合計 36名
◇優秀賞	1～10級	合計 36名
◇奨励賞	1～10級	合計 94名
◇特別賞		
〈個人の部〉	級を問わず年間での最高齢合格者	1名
	1級・準1級各級の最年少合格者	2名
〈家族の部〉		6組

団体賞

◇日本漢字能力検定協会賞	4団体
◇最優秀団体賞	20団体
◇優秀団体賞	113団体
◇奨励賞	141団体
◇特別賞	69団体

⑧各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、合格証書・合格証明書・検定結果通知に加えて「満点賞」の賞状を授与しました。当年度の授与者は延べ27,396名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は4,140件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1日程の志願者数80名以上または年間累計志願者数80名以上の条件を満たした希望団体314団体に554セットを送付しました。

(2)「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

2017年度より実施形式が従来のPBT（Paper Based Testing）からCBT（Computer Based Testing）に移行しています。

①実施日

各テスト会場の開設日時に応じて随時

②実施地

国内：36 都市 51 会場

海外：19 国／地域 54 会場

③受験料

7,000 円（税込、日本国内）

④志願者数

	志願者数
国内	3,930
海外	1,591
合計	5,521

(3)「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を実施しました。

①検定級および検定料

2 級：4,000 円 準2、3 級：3,000 円 4 級：2,000 円

②実施日

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
2022 年 2 月 13 日（日）	2～4 級	2021 年 8 月 24 日（火）	準2～4 級
		2021 年 10 月 30 日（土）	準2～4 級
		2021 年 11 月 12 日（金）	準2～4 級
		2022 年 1 月 26 日（水）	準2～4 級
		2022 年 2 月 12 日（土）	準2～4 級
		2022 年 2 月 13 日（日）	2～4 級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	合計
公開会場		-	2	2
準会場		194	157	351
合計		194	159	353

④志願者数・受検者数・合格者数

2021年度総計

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	561	5,477	13,630	8,209	27,877
受検者数	477	4,573	10,286	6,002	21,338
合格者数	358	3,327	8,145	4,549	16,379
合格率(%)	75.1%	72.8%	79.2%	75.8%	

2級～4級平均合格率 76.8%

⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、2,135人が受検しました。

⑥資格活用状況調査

全国の大学・短期大学、専修学校における「文章検」の活用状況を調査しました。入学試験だけでなく入学後にも「文章検」を活用している大学・短期大学、専修学校に関する情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数	活用方法 (重複あり)	
				入学試験	入試以外
大学・短期大学	1,068	1,056	480	453	62
専修学校	2,662	1,983	362	270	113

⑦文章能力養成のための研修およびアセスメントツールの提供

企業・大学等の団体に対して、集合型・オンラインによる研修や文章力アセスメントツール「論理的文章力トレーニング」(利用者5,392人)を提供しました。

(4) 学習支援講座

①漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検1級・準1級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。本年度で会員数は10,953名に達しました。会員向けの通信を年3回発行(ホームページでも公開)しました。

また、研修会を3回オンライン(Zoom)で開催しました。

第28回研修会

日時：2021年4月9日(日) 13:30～15:30

講演：『字から語へー東アジア近代翻訳語の創造とその基盤ー』

千葉 謙悟 氏(中央大学経済学部教授)

申込者：163名

第29回研修会

日時：2021年7月4日(日) 13:30～15:30

講演：『日本と中国の漢字と漢語』

荒川 清秀 氏(愛知大学名誉教授)

申込者：288名

第30回研修会

日時：2021年11月7日（日） 13:30～15:30

講演：『令和漢字ニュースコレクション』

円満字 二郎 氏（辞書編集者）

申込者：240名

②漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成するため、「漢字教育サポーター育成講座」を希望者向けに開講しました。講座は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が主催する「漢字教育士」認定講座のカリキュラムに基づいたWebでのビデオオンデマンド講座で、1年間に4科目、全80時間の講義の視聴と確認テストを行い、合格者162名を第10期修了者として認定しました。なお、第10期をもって、育成講座の開講は終了しました。

また、漢字教育サポーター登録者を対象にした研修会を年3回オンライン（Zoom）で行い、後日サポーター限定でアーカイブ配信も行いました。

○4月度研修会

日時：2021年4月10日（土）10:30～11:30

テーマ：『「漢字イベント」開催のポイント』

申込者：67名

○7月度研修会

日時：2021年7月10日（土）10:30～11:30

テーマ：『オンラインで体験！漢字教育サポーターミニ講座』

申込者：96名

○11月度研修会

日時：2021年11月13日（土）10:30～11:30

テーマ：『漢字教室を始めたい方必見！オンライン講座デビューの方法』

申込者：74名

③漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1級・準1級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。紹介実績6件。

漢字教育サポーター登録者数：710名（1期～9期合計）

(5)教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 漢字学習ステップ」「漢検 過去問題集」「文章力ステップ」ほか

・・・・・・・・998,541冊

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢検 漢字辞典」「漢字学ことはじめ」「マンガで体験！にっぽんのカイシャ」ほか

・・・・・・・・11,112冊

合計 1,009,653冊

また、上記の有料の教材や参考書だけでなく、無料で利用していただける教材も制作し、教育現場等を通じて提供しました。

①検定・テストに対応するもの

「漢検 目安級診断プリント」「漢字学習サイクルプリント」ほか

・・・・・・・・1,736,468部

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢字でわーく・わーく」「漢字王国と僕と私の不思議な15日間」ほか

・・・・・・・・549,776部

合計 2,286,244部

③その他デジタル教材

「漢字学習アプリ『いちまると旅しよう！ しりもじ漢検』」「作文学習アプリ『いちまるとはじめよう！ことばむすび』」ほか

II. 理事会・評議員会に関する事項

2021年度の理事会・評議員会の開催状況は以下の通りである。

- ・理事会（定例）

日 時：2021年6月8日（火）午前10時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web会議）

出席者：理事10名、監事2名

- ・評議員会（定時）

日 時：2021年6月23日（水）午後1時

場 所：当協会 京都本部および評議員・監事の活動拠点（web会議）

出席者：評議員8名、理事4名、監事3名

- ・理事会（臨時）

日 時：2021年6月23日（水）午後4時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web会議）

出席者：理事10名、監事2名

- ・理事会（定例）

日 時：2021年9月7日（火）午前10時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web会議）

出席者：理事10名、監事2名

- ・評議員会（臨時）

日 時：2021年9月28日（火）午後2時

場 所：当協会 京都本部および評議員・監事の活動拠点（web会議）

出席者：評議員8名、理事4名、監事1名

- ・理事会（臨時）

日 時：2021年10月29日（金）午前10時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web会議）

出席者：理事10名、監事2名

- ・評議員会（決議の省略の方法による）

日 時：2021年11月19日（金）

同意者：評議員総数11名全員の同意

- ・理事会（定例）

日 時：2021年12月7日（火）午前10時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web会議）

出席者：理事10名、監事2名

・理事会（定例）

日 時：2022年3月1日（火）午前10時

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）

出席者：理事 12 名、監事 1 名

・評議員会（臨時）

日 時：2022年3月16日（水）午後2時

場 所：当協会 京都本部および評議員・監事の活動拠点（web 会議）

出席者：評議員 9 名、理事 4 名、監事 1 名

Ⅲ. その他

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響）

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されたことにより、準会場である学校等が学校・学級閉鎖となり、「日本漢字能力検定」の実施取りやめが多数発生しました。また漢検漢字博物館・図書館においても臨時休館を余儀なくされるなど、協会の事業活動に広範囲に影響を及ぼしました。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症による影響の規模や期間は縮小すると思われるものの、感染拡大状況によってはなお影響がでることが予想されます。

Ⅳ. 後発事象

「日本漢字能力検定」ならびに「文章読解・作成能力検定」の個人受検 web 申込サービスに利用しているサーバーに海外から不正アクセスが確認され、サービスの委託先会社より、情報の流出または改ざんの可能性があるとして発表（2022年5月20日）されました。委託先会社において、不正アクセスの原因および情報の流出または改ざんの内容・規模等の調査が継続しています。本サービスは、本協会の検定以外にも数多くの検定試験に利用されており、現段階で本協会に及ぼす影響は特定されていません。

今後、委託先会社の調査結果を受け、サービス利用者への対応を検討するとともに、委託先への管理強化等の再発防止策を講じていきます。

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。

2022年 6月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会